いわて未来づくり機構だより

平成25年度
第 3 号
発行日 平成 25 年 12 月 2 日

いわて未来づくり機構では、平成24年度から3ヵ年を、機構の第2フェーズとして、オール岩手による復興と未来づくりにつながる県民運動を力強く推進しています。平成 25 年度は、第2フェーズの中間年に当たり、復興を加速させる年でもあります。会員各位の一層の御協力をよろしく願いします。

会員の皆様には、益々御清栄のこととお喜び申し上げます。「いわて未来づくり機構」は、皆様の御支援・御協力を賜り、設立より６年目を迎えることができました。本号では、去る 11 月７日に開催された平成２５年度第２回ラウンドテーブルを中心にご報告いたします。

事業報告

平成 25 年度 第2回ラウンドテーブル



平成 25 年 11 月７日（木）の 15 時 00 分から、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィングにおいて、**平成 25 年度第２回ラウンドテーブル（RT）を開催**しました。

今回は、年度当初の事業計画やＲＴメンバーからの御意見も踏まえ、「議論するＲＴ」として、①ものづくり企業の今後の方向性等について、と②ＩＬＣ誘致に向けた課題について、の２題につきまして議論を行いました。

議題１ ものづくり企業の今後の方向性等について（人材育成を中心に）

釜石市の㈱エイワの佐々木常務をゲストスピーカーに、①地元就職率向上のための企業の魅力づくり、②経営者の意識改革、の２つの論点を中心として議論が進みました。

- ものを作る、売るだけではなく、その**行く末に顧客や市民が存在することを組織のトップが訴えていくことが必要**。
- **人材育成**は、お金や時間などがかかるが疎かにすると後でしっぺ返しを食う、**企業経営において非常に重要**なもの。
- **優秀な人材を採用するには、**企業が待ちの姿勢ではなく、社会貢献のＰＲや、魅力的な業務の付与など**学生の志向に合わせた企業づくりをやっていくことも重要**。
- **現大学２年生から就職活動の開始時期が遅くなり**大企業・中小企業の採用時期と公務員試験が重なるため、**地元企業が学生にＰＲするための企業力を付けることが必要**。
- **県内企業**は、強みを前面に押し出して**県民にもっと知ってもらい、認知されることが必要**。
- 震災以降、**若者の地元志向**が高まっており、その潜在的な可能性を**いかに実際の就職等に活かしていくかが大事**。

議題２ ILC誘致に向けた課題について

県の大平首席ＩＬＣ推進監から、誘致に係る現状と課題の説明があった後、地元側として、各主体が今この時期にやらなければならない取組について議論が進みました。

- **国民理解促進のためのＰＲが大切**で、東北、北海道まで巻き込み一体となってＰＲしていく組織の立ち上げも必要。
- 候補地が一本化されたことで、東京の経済同友会の対応も一本化された。**中央経済界や有識者への働き掛けも同友会を通じて行うことで効果的に行いたい**。
- **「国際化」という点で岩手県は遅れをとっている印象があることから、大学としても支援**していきたい。
- **研究都市としての街づくりの青写真的なものを早めに作り、県外・国外にＰＲ**していくことが必要。
- **英語に特化した教育と高速交通網の整備**が必要。
- 北上山地建設の正式決定は時間の問題だと考えるが、必要性を東北から東日本全体に地域的に広げ、経済界に浸透させていくことで、**早く政府に決断してもらう**ことが重要。また、政府が決めた後に国民からも後押しされるよう、**地元が頑張って世論形成を図っていく**ことが必要。

なお、ＲＴの概要及び資料は、機構のホームページから御覧ください。

【東北未来創造イニシアティブ作業部会】

◎ 第１期未来創造塾が開講

社団法人東北ニュービジネス協議会会長の大山健太郎氏を塾長、ＲＴメンバーの１人である高橋真裕岩手経済同友会代表幹事を副塾長として、**平成25年８月25日から開講**しました。

釜石市、大船渡市を中心とした 23 名の方が、自身の事業の再建・拡大と挑戦、さらにその先にある地域の未来の創造に向けて、切磋琢磨されています。

開講以降、大山塾長との寺子屋式対話、政策投資銀行による「経営と会計」セッション、ＮＰＯ法人ＩＳＬによる「リーダーシップ」セッション、有限責任監査法人トーマツによる「事業構想発表」セッション、マッキンゼー・アンド・カンパニーによる「戦略」セッションなどを重ねてきました。今後、３月の卒塾式での最終プレゼンに向け、それぞれの構想の磨き上げを行っていきます。

◎ 未来創造フォーラム

未来創造塾と並行して、**広く市民の方々を対象とするオープン形式のフォーラムを開催**しています。

第１回はマッキンゼー・アンド・カンパニーの方を講師として「マッキンゼーに学ぶ、ビジネスデザインと戦略」と題し、11 月９日に開催しました。

12 月７日には、㈱博報堂の方を講師に「博報堂に学ぶ、マーケティングとブランド戦略」と題した第２回フォーラムを予定しています。

http://tohokumirai.jp/

検索	東北未来創造イニシアティブ

【復興教育作業部会】

◎ 復興教育に係る講師派遣リストの作成

今年度から活動を開始しました復興教育作業部会では、県教育委員会の策定した**「『いわての復興教育』プログラム」の各学校での推進を支援していく**ことを活動方針として掲げています。

第１弾として、機構のネットワークを活かして、各学校で活用可能な復興教育に係る講師の派遣リストを作成することとしており、今後、会員各位に詳細を依頼する予定です。

会員各位の御協力をお願いいたします。

http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=4517&ik=3

検索	いわての復興教育

情報をご提供下さい

機構では、ホームページなどを活用した、会員・一般向けの**情報発信**を行っています。

会員の皆様において、「イベントを予定している」「周知したいことがある」など、**発信したい情報がある場合は、機構事務局あてご相談ください。**

また、「買うなら岩手のもの運動」の一環として、ホームページ上で**「岩手のイイモノ」紹介**を行っています。**「イイモノ」の御推薦がありましたら、皆様からもお寄せ願います。**

なお、事務局において機構としての発信が適当ではないと判断した場合は、お断りさせていただく場合がありますので予めご了承願います。

今後の予定

第3回ラウンドテーブル	平成 26 年３月 17 日の開催を予定しています。

いわて未来づくり機構事務局からのお知らせ

会員各機関の代表者、担当者、メールアドレス等に変更があったら、事務局までお知らせください。

〒020-8570　盛岡市内丸 10-1　岩手県政策地域部政策推進室（担当：鎌田、田山）
電　話：019-629-5215（FAX019-629-5254）　E-mail：aa0001 @pref.iwate.jp
ホームページ　http://iwatemirai.com/